

「大震災復興支援及び現地視察」 被災地陸前高田市の園児においしい水を 提供する人道支援

小樽ロータリークラブ

奉仕プロジェクト委員長 坂田道昭



東日本大震災が当クラブの熊澤ガバナー年度に向けての大切な会議である2011-12年度会長エレクト研修セミナーの前日に発生して以来、復興支援は小樽ロータリークラブの奉仕の大きなテーマになりました。

昨年、山田町（冬季用雨合羽支援、船越小学校への紅白垂れ幕、一輪車支援）に引き続き支援プロジェクトを本年度もプロジェクト委員会担当としましたが、本年度は当クラブの創立80周年記念の年にもあたり、記念事業の一環として行われる事になりました。

今回の奉仕活動については、岩手の盛岡中央R C、盛岡西R C、小樽R C、3クラブ共同と協力団体との事業となり、大津波でほとんどのインフラが壊滅的な被害を受けた中、この津波で床上まで海水に浸り水道補給管が腐敗して子供達が飲む飲料水に汚れや悪臭が発生した陸前高田市の社団法人広田保育園に浄水器を寄贈し、園児においしい水を提供する役目を担いました。

保育園が決まらずに若いお父さんお母さんが、働きたくとも働けない状態にあることが多々あると聞き及んで、保育園は復興の原動力の最前線にあり、そこにご奉仕できたことをうれしく思いました。そして何より、岩手のロータリークラブの皆様との交流ができ奉仕の輪が広がったことに喜びを覚え、小樽に帰ってまいりました。

先日当クラブの創立80周年記念式典が行われましたが、本年度奉仕を共にした岩手のロータリークラブの皆様のほか、過年度の震災に対するご奉仕を共に行った東京山の手R C、山田R Cの皆様もお祝いに駆けつけて戴きました。

わが小樽ロータリークラブも創立80年の次の新しい10年を迎えるにあたり、そのお礼のお返しをしながら奉仕の輪を広げ、奉仕の理想を求めて行くことができることに、喜びを感じている今日この頃です。

